

MUSEUM

2004Autumn

EYES

ミュージアム・アイズ

Vol.

38

Mm
MEIJI UNIVERSITY
MUSEUM

● 特集

メイキング・オブ・NEWミュージアム

明治大学博物館の出来るまで



博物館スタッフのご紹介Ⅱ

—ありがとうございます—

御来館1万人達成!!

収蔵室から 江原台遺跡出土の山形土偶

「エムツー」カタログ

秋季展覧会のお知らせ 蘆田文庫古地図特別展

博物館入門講座

来た・見た・聞いた 明治大学博物館

博物館友の会から

のしませ
輪島塗・熨斗蒔絵見本吸物椀

「蒔絵」とは、その名の通り、接着剤となる下絵漆の上に金粉を蒔いて付着させる技法です。炭粉によって絵を盛り上げる高蒔絵や、金粉の粒子の大小によって色調を変えるなど、その極めて繊細な表現技法は日本伝統工芸の真骨頂と言えます。▶詳しくは第37回入門講座で

明治大学博物館

メイキング・オブ・ NEWミュージアム

明治大学博物館の出来るまで

新装開館から早や半年。新博物館の展示はご覧いただけましたでしょうか？
今回は、やや時計の針を戻して、新博物館が完成するまでの道のりを辿ってみます。



2003.12.9 ▶ 建設工事中の展示室

竣工間近のアカデミーコモン内。
すでに展示ケースが搬入されています。



2004.2.6 ▶ 展示室工事

まだ展示ケースには資料が入っていません。



2004.2.9 ▶ 展示資料の移転

考古資料の梱包。壊れやすい資料を運搬するため、
美術梱包という特別な方法が用いられました。



2004.2.16 ▶ 列品作業

だんだん展示が形になってゆきます。



2004.2.4

▶ 図書室の移転

新図書室の配架順に
並べたところ。
こんなにたくさんの本が
あったとは…。



現在

心配でしたがいちおう
全部納まりました。
ご利用お待ちしております。

新博物館建設関係年表

1997年	1月	新校舎建設の原案「B地区パイロットプランB-4」案が提示される。
1999年	11月	「B地区新博物館建設構想について」を新校舎建設推進部署へ提出。
2000年	3月21日	博物館検討プロジェクト・グループ(博物館事務室・歴史編纂事務室・大学調達部局)発足。 新博物館施設の検討開始。
	4月20日	「B地区開発博物館設立に関する企画案」提出。
	11月16日	新校舎基本設計案図面第1案が提示される(～01年3月まで協議)。
2001年	5月18日	新博物館施設「各室諸元調査表」を提出。
	8月7日	「B地区実施計画」が理事長から公示される。
2002年	1月18日	特別展示室・常設展示室設計第1案が提示される(～4月まで断続的に協議)。
	6月19日	展示工事実施設計図が完成。
	10月28日	展示施工のプロジェクト・グループ(博物館事務室・歴史編纂事務室・大学調達部局・設計会社・施工会社 によって構成)検討会開始(～04年2月まで計11回)。
	12月19日	常設展示施工実務者分科会開始(～03年3月まで断続的に)。
2003年	1月15日	展示グラフィックのデザイン案が提示される。
	1月31日	常設展示資料リストを提出。
	4月28日	備品類の仕様最終確認。
	6月2日	展示グラフィック原稿提出・調整(～6日)。
	8月4日	展示資料取付パーツ仕様調査開始(展示物測定・～9月5日)。
	8月8日	展示グラフィック初校出(再校以降は各部門ごとのスケジュール)。
	11月5日	展示案内図録、リーフレット類原稿入稿。
	12月25日	新校舎アカデミーコモン竣工。
2004年	1月18日	収蔵室収納棚設置工事(～2月25日)。
	1月30日	新博物館ポスター・チラシ納品。
	2月9日	常設展示列品資料移転(～12日)。
	2月12日	常設展示列品作業開始(～21日)。
	2月26日	アカデミーコモン博物館施設検収。
	2月27日	展示案内図録・リーフレット納品。
	3月6日	アカデミーコモン竣工記念式典。
	3月8日	収蔵資料移転作業(～11日)。
	3月15日	収蔵図書移転作業(～17日)。
	3月22日	事務室移転作業。
	3月23日	収蔵資料移転作業(～25日)。
	3月31日	開館記念式典・内覧会を挙げる。
	4月1日	一般公開を開始。

Making of New MUSEUM

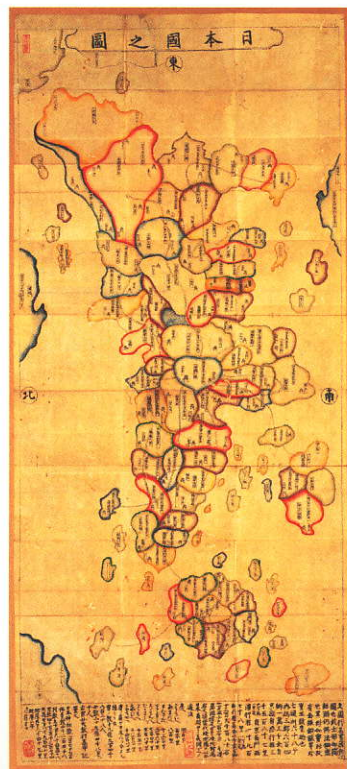
蘆田文庫古地図 特別展

入場無料

会期 10/2(土)～12/19(日) 11/8(月)・11/9(火)は展示替のため閉室

主催 明治大学図書館
明治大学博物館 明治大学リバティ・アカデミー
会場 明治大学博物館特別展示室

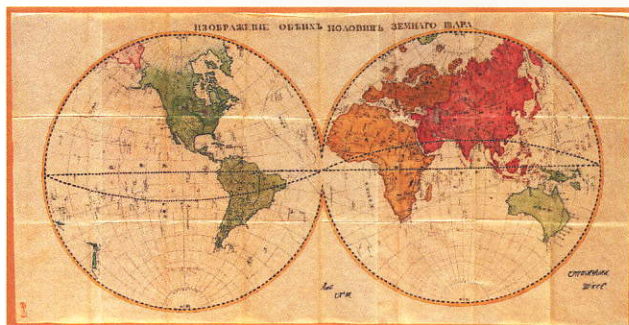
明治大学図書館には、蘆田伊人氏の蒐集による古地図約2千点が収蔵されています。蘆田伊人氏は明治末年から第2次大戦後にかけて多くの研究業績を残した歴史地理学者で、コレクションの学術的な価値は、図り知れないものがあります。今回の展覧会では、「新訂萬國全圖」(高橋景保)、「伊能図中図」(中國四國西國・伊能忠敬)、「新刻日本輿地路程全圖」(長久保赤水)をはじめ、選りすぐりの古地図を展示します。



〈主な展示資料〉

- 日本國之圖(明暦2年刊行図の写図、行基図)
- 新刻日本輿地路程全圖(長久保赤水)
- 日本分形圖(寛文6年に刊行された日本最初の地図帳)
- 伊能図中図 中國四國西國(伊能中図としては珍しい瀬戸内海を中心としたもの)
- 官板実測日本地図(伊能図を元に幕府開成所により刊行)
- ロシア帝国地図帳(1745年、ロシア語版とドイツ語版)
- 魯齊垂之圖(長久保赤水自筆)
- 輿地圖(マテオ・リッチ図系の最初の刊行世界図(原目貞清))
- 新訂萬國全圖(双円形世界図の完成形(高橋景保))
- Atlas Nouveau(新世界地図帳)とその翻訳「輿地圖編小解」(Nicolas Sansonの世界地図帳と前野良沢自筆との説もあるその翻訳書)

※会期中、日本編と世界編の入れ替えをおこないます。



博物館入門講座

リニューアルオープン後、初の入門講座となる第33回「新生明治大学博物館のすべて」が、7月9日に全6回の講義を終了しました。この講座では、展示理論と展示技術の結晶である新展示室をはじめ、視聴覚機器の充実した教育普及施設、そして明治大学駿河台の巨大タイム・カプセルとも言える収蔵室など、通常では見られない場所をご案内しました。最終日には、全講義出席者の方に修了証書を贈呈しました。

○現在、受講生を募集しております。

■第37回博物館入門講座「伝統工芸は今… ～漆器の伝統と現在～」

■第36回博物館公開講座 明治大学考古学ゼミナール「九州の考古学」

詳しい内容・申し込み方法は、博物館備え付けの講座案内及びリバティ・アカデミーのパンフレットをご参照ください。また、ホームページでも詳細をご覧いただけます。

<http://www.meiji.ac.jp/museum/> (明治大学ホームページ)



メディア掲載一覧

資料写真掲載

- 資料掲載【慶長18年「摂州武庫郡鳴尾村検地帳」】他計4点
『鳴尾村誌』鳴尾村誌編纂委員会
- 資料掲載【群馬県岩宿遺跡出土打製石器】
【縄文土器(栃木県篠山貝塚)】
『中学社会年表ワーク』(株)学習研究社
- 資料掲載【茨城県舟塚古墳出土家形埴輪】
『ひたちなか市の考古学 vol.2』ひたちなか市
- 資料掲載【お白州の錦絵】他計15点
『週刊ビジュアル日本の歴史』増補版(株)デアゴスティーニ・ジャパン
- 資料掲載【賭博の図(『徳川幕府刑事図譜』)】
『小川町のあゆみ』小川町教育委員会
- 資料掲載【新潟県荒屋遺跡出土石器】
『社会科中学校の歴史—日本の歩みと世界の動き—初訂版』(株)帝国書院
- 資料掲載【福岡県板付遺跡出土壺形土器】
『考古資料大観 第10巻』(株)小学館
- 資料掲載【群馬県岩宿遺跡出土ハンドアックス】他計9点
『ワイド版歴史資料集』(株)新学社
- 資料掲載【夏島貝塚出土土器】
『新編ビジュアル日本史』(株)東京法令出版
- 資料掲載【発掘風景(長野県矢出川遺跡群)】
堤 隆『氷河期を生き抜いた狩人・矢出川遺跡』(株)新泉社
- 資料掲載【発掘風景(群馬県岩宿遺跡)】他計3点
『群馬の旧石器』みやま文庫

館紹介等の取材・撮影・掲載(新聞・雑誌)

- ◇掲載【明治大学博物館】
『フジサンケイビジネスアイ』2004年6月4日
- ◇掲載【明治大学博物館】
『高校生新聞(夏号)Vol.4』2004年6月20日
- ◇掲載【明治大学博物館】
『朝日新聞(夕刊)』2004年6月23日
- ◇掲載【明治大学博物館】
『Le pont(ル・ボン)Vol.21』(株)アイプラネット 2004年6月25日
- ◇掲載【明治大学博物館】
『螢雪時代8月号』(株)旺文社 2004年7月14日
- ◇掲載【明治大学博物館】
『季刊 陶磁 39号』(株)双葉社 2004年7月16日
- ◇掲載【明治大学博物館】
『大人の旅、味わいの旅 東京』成美堂出版 2004年8月1日
- ◇掲載【明治大学博物館】
『びあmapミュージアム首都圏版'04~'05』(株)びあ 2004年8月18日



岩宿遺跡出土石器

団体見学の記録 2004年6月～8月

- 【一般】 横浜歴史散歩の会53名/埼玉県東部地区父母会172名/東京歩いて見よう友の会39名/さいかち会10名/読売日本テレビ文化センター11名/いわき奉仕団(内藤家供養会)62名/彩の国生きがい大学所沢学園8名/千葉県西部地区父母会105名/東京都多摩地区父母会146名/東京都北部地区父母会104名/東京都東部地区父母会96名/韓国大学博物館協会28名/東京都西部地区父母会92名/東京都南部地区父母会73名/読売文化センター16名/お茶の水情報連絡協議会16名/文学部立柳講師「児童厚生員ジャンボリー」60名/日本セカンドライフ協会12名/退職学校事務職員協議会15名
- 【小・中学校】 新潟県中里村立貝野小学校9名/千代田区立お茶の水小学校3年生15名/愛知県江南市立宮田中学6名/和歌山県白浜町立白浜中学6名/愛知県豊橋市立南稜中学4名/愛知県刈谷市立依佐美中学4名/愛知県蟹江町立蟹江中学9名/昭島市立清泉中学4名/名古屋市立御幸山中学5名
- 【高等学校】 明治大学附属明治高等学校歴史研究部11名/二松学舎大学附属高校6名/埼玉県立熊谷女子高校20名/群馬県立高崎女子高校160名/聖望学園高校30名/都立新宿山吹高校9名/福島県立湯本高等学校図書局11名
- 【大学】 学習院大学博物館実習18名/大妻女子大学60名/専修大学高木ゼミ35名/川村学園女子大学21名/共立女子大学20名/桜美林大学13名

博物館 友の会から

“展示解説ボランティア”

本会では毎週火曜・金曜の13時から16時30分と事前に解説を希望される団体に会員による展示解説を行っています。

展示解説ボランティア活動は明治大学考古学博物館時代の1998年にスタートし、現在に至っています。そうした関係から4月から明治大学博物館に衣替えした現在も、考古部門を中心にして展示解説活動をしている現状です。

新生明治大学博物館が商品・刑事・考古の3部門から成り立ち、一つの博物館として展示されている状況と、5月の総会にて「明治大学考古学博物館友の会」から「明治大学博物館友の会」となり、商品・刑事部門の展示解説をする準備が現在

すすめられており、来年早々には3部門そろっての解説が出来る予定です。

我々が展示解説活動を行っているなかで、解説を聞いて展示物の内容、背景、昔の人が使っていた道具の使い方などを聞かれ良くなった、と云って帰られる方々の話を聞くと、展示解説の大切さを感じます。

博物館を見学に来られる方の年齢、性別、職業、展示物に対する関心度は様々です。ふらりと見学に来られる方、一人でじっくりご覧になりたい方、風の如く来られて風の如く去って行かれる方など様々です。それらの方々の意を酌んで解説するのはなかなか難しいですが、見学者のじゃまにならないよう努めながらメンバー一同努力して参りますのでよろしくお願い致します。

(展示解説ボランティア代表 長野陽次)

◎刑事・商品部門解説員の募集につきましては、館内で配布のチラシをご覧ください。

【博物館友の会 連絡先】

〒101-8301 千代田区神田駿河台1-1
明治大学博物館 友の会宛

博物館案内

【開館情報】

開館時間 10:00～16:30 (入館16:00まで)

休館日 8月の土・日曜
夏期休業日(8/10～8/16)
冬季休業日(12/26～1/7)
創立記念祝日(11/1)

※開館時間・休館日には変更の場合があります。

観覧料 常設展無料
特別展は有料の場合があります。

【図書室ご利用案内】

開室時間 月・金 10:00～18:30
(8,9,2,3月は10:00～16:30)
火～木 10:00～16:30
土 10:00～12:30

閉室日 日曜・祝日・大学が定める休日

※図書室はどなたでもご利用いただけます。

※蔵書は原則閲覧・コピーのみとなりますのでご了承ください。



■交通機関
JR御茶ノ水駅(中央線)から徒歩5分
地下鉄御茶ノ水駅(丸の内線)から徒歩8分
地下鉄新御茶ノ水駅(千代田線)から徒歩8分
地下鉄神保町駅(都営新宿線・半蔵門線)から徒歩10分

